

平成28年度 「伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」進行管理表

<構成>

1 指標の変更箇所	1
2 基本目標の状況変化	2
3 各施策の状況変化		
【基本目標①】安定した雇用を創出する		
施策①	地域資源を活かした産業の振興及び新産業の創出 3
施策②	職業として選択できる魅力ある農水産業の実現 4
施策③	就労支援及び就労環境の充実 5
【基本目標②】伊勢への新しいひとの流れをつくる		
施策①	観光誘客の推進 6
施策②	移住の推進 7
施策③	高等教育機関との連携及び若者の定着促進 8
【基本目標③】若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
施策①	結婚・妊娠・出産・子育てに対する切れ目のない支援 9
施策②	教育の充実 10
施策③	ワーク・ライフ・バランスの実現 11
【基本目標④】暮らしやすい生活圏をつくる		
施策①	コンパクトなまちづくり 12
施策②	居住環境の向上 13
施策③	地域内コミュニティの活動促進 14
施策④	健康づくり・介護予防の促進 15
施策⑤	広域連携の推進 16

1 指標の変更箇所

ページ番号	指標名	内容		理由	
2	市内製造業従業者数(4人以上事業所)	現状値	変更前	8,715人(平成26年12月末)	策定時の現状値は速報値であり、その後正式な数値が公表されたため。
			変更後	8,725人(平成26年12月末)	
3	新規創業者数(第二創業者を含む)	現状値	変更前	39人(H23~26年度)	年度毎の状況を把握する必要があることから、単年度毎の値を追加するもの。
			変更後	39人【10人】 (H23~26年度【年平均】)	
3	技術開発支援事業関連の補助金獲得支援事業者数	現状値	変更前	9社(H23~26年度)	年度毎の状況を把握する必要があることから、単年度毎の値を追加するもの。
			変更後	9社【3社】 (H23~26年度【年平均】)	
3	各講座・教室の参加人数	現状値	変更前	3,368人(H23~26年度)	年度毎の状況を把握する必要があることから、単年度毎の値を追加するもの。
			変更後	3,368人【842人】 (H23~26年度【年平均】)	
5	支援策を受けて就職した人数	現状値	変更前	269人(H23~26年度)	年度毎の状況を把握する必要があることから、単年度毎の値を追加するもの。
			変更後	269人【68人】 (H23~26年度【年平均】)	
7	「地域ブランド調査」における「魅力度」順位	指標	変更前	各種メディアへの掲載件数	本市を取り巻く社会経済情勢に大きく影響を受ける指標であるため、総合的に本市の魅力を評価、測定できる指標に変更するもの。
			変更後	「地域ブランド調査」における「魅力度」順位	
9	来所又は電話等によるセンター利用件数	目標値	変更前	800件/年(H30年度実績)	想定を超える実績があり、当初の目標値を超えたため。また、時点については開設時である10月から1年間の実績を継続して比較するため。
			変更後	3,000件/年 (H30年10月~H31年9月)	
10	教育用コンピュータの整備率	目標値	変更前	2人/台(H31年12月末)	国の基準変更に伴い、下方修正を行うもの。
			変更後	4.1人/台(H31年12月末)	
11	日常生活での乳児・幼児の世話の分担で夫婦同じ程度と回答した割合	現状値	変更前	16.6%(H24年度)	現状値及び目標値の数値に誤りがあったため、修正を行うもの。
			変更後	40.4%(H27年度)	
		目標値	変更前	40%(H31年度)	
			変更後	50%(H31年度)	
14	まちづくり協議会が実施する事業数	目標値	変更前	138事業/年(H30年度)	想定を超える実績があり、当初の目標値を超えることが見込まれるため。
			変更後	150事業/年(H30年度)	
15	ポイント事業の参加者	目標値	変更前	700人(H31年12月末)	想定を超える実績があり、当初の目標値を超えたため。
			変更後	3,000人(H31年12月末)	

2 基本目標の状況変化

基本目標①	安定した雇用を創出する					
	指標名	市内製造業従業者数（4人以上事業所）				
	策定時 値		平成28年度進行管理時点 値		目標値	
	時点/実績年		時点/実績年		時点/実績年	
	8,725人	H26年12月末	8,725人	H26年12月末	8,800人	H31年12月末

基本目標②	伊勢への新しいひとの流れをつくる					
	指標名①	神宮参拝者数				
	策定時 値		平成28年度進行管理時点 値		目標値	
	時点/実績年		時点/実績年		時点/実績年	
	10,865,160人	H26年	8,382,278人	H27年	8,000,000人	H29年
	指標名②	社会増減数				
	策定時 値		平成28年度進行管理時点 値		目標値	
時点/実績年		時点/実績年		時点/実績年		
259人減少/年	H22～26年平均	282人減少/年	H23～27年平均	200人減少/年	H27～31年平均	

基本目標③	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる					
	指標名①	『子育てしやすいまちだ』と思う人の割合				
	策定時 値		平成28年度進行管理時点 値		目標値	
	時点/実績年		時点/実績年		時点/実績年	
	61.3%	H25年度	62.6%	H26年度	70.0%	H31年度
	指標名②	合計特殊出生率				
	策定時 値		平成28年度進行管理時点 値		目標値	
時点/実績年		時点/実績年		時点/実績年		
1.48	H25年	1.45	H26年	1.6	H32年	

基本目標④	暮らしやすい生活圏をつくる					
	指標名	『暮らしやすいまちだ』と思う人の割合				
	策定時 値		平成28年度進行管理時点 値		目標値	
	時点/実績年		時点/実績年		時点/実績年	
	68.5%	H27年度	72.2%	H28年度	75.0%	H31年度

3 各施策の状況変化

基本的方向	施策① 地域資源を活かした産業の振興及び新産業の創出						
-------	-----------------------------------	--	--	--	--	--	--

具体的施策	重要業績評価指標(KPI)	策定時				目標値	担当所属
		現状値		平成28年度進行管理時点			
		現状値	時点/実績年	現状値	時点/実績年		
ア 創業支援	新規創業者数(第二創業者を含む。)	39人 【10人】	H23～26年度 【年平均】	41人 【41人】	H27年度 【年平均】	160人 (H27～30年度)	商工労政課
イ ものづくり産業の活性化	技術開発支援事業関連の補助金獲得支援事業者数	9社 【3社】	H23～26年度 【年平均】	4社 【4社】	H27年度 【年平均】	16社 (H27～30年度)	商工労政課
ウ 伝統工業の振興	各講座・教室の参加人数	3,368人 【842人】	H23～26年度 【年平均】	1,000人 【1,000人】	H27年度 【年平均】	4,300人 (H27～30年度)	商工労政課
主な 取組内容	事業名	H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要			
	産業支援センター管理運営費	46,171	46,691	企業訪問による課題解決、起業家育成、人材育成セミナーの開催、伝統工芸の振興などの各種支援業務を行う伊勢市産業支援センターの施設の管理運営。			
	ものづくり推進事業	4,159	6,334	中小製造事業者の新技术・新商品の開発に対する補助、伝統工芸品産業の振興に対する補助及び創業時の借入金に対する保証料補助を行う。			

エ 企業誘致の推進	奨励措置指定事業者数	11社	H23～26年度	12社	H23～27年度	15社 (H30年度末)	商工労政課
主な 取組内容	事業名	H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要			
	企業立地推進事業	18,370	113,338	企業誘致活動、工業団地整備、伊勢志摩地域産業活性化協議会負担金			
	工場等誘致奨励事業	23,060	52,293	伊勢市工場等立地促進条例に基づく奨励金の交付			

オ 市内中小企業・小規模事業者への支援	市民アンケートの伊勢市の商業について「活気があると感じている」「どちらかといえば感じている」との回答割合	22.6%	H26年度	21.6%	H27年度	36% (H31年度)	商工労政課
主な 取組内容	事業名	H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要			
	住宅・店舗リフォーム等促進事業補助金	11,645	12,000	市内の事業所で店舗の新築工事又は、住宅・店舗のリフォーム・増改築を行う者に対し、その工事費の一部を補助			
	プレミアム付き地域商品券発行支援事業	150,025	-	プレミアム付き地域商品券の発行を支援			
	クレジットカード決済機器導入促進事業	-	3,000	クレジットカード決済機器を導入する者に対し整備費用の補助			

今後の取組の方向性	<p>商工業の振興を図るため、関係団体と連携した中小企業の経営基盤の強化等への取り組み、地域コミュニティとしての役割が期待されている商店街の活性化、都市圏での特産品のPR、産業支援センターを中心としたものづくり産業、伝統工芸の振興や創業支援を行うとともに、企業立地の推進を図る。</p> <p>また、創業支援については、伊勢志摩定住自立圏の連携市町とともに首都圏においてUIJターン創業支援セミナーを開催するとともに、UIJターン創業希望者への支援を検討している。</p>
------------------	--

基本的方向	施策② 職業として選択できる魅力ある農水産業の実現
-------	----------------------------------

具体的施策	重要業績評価指標(KPI)	策定時				目標値	担当所属
		現状値		平成28年度進行管理時点			
		現状値	時点/実績年	現状値	時点/実績年		
ア 農業生産基盤の整備	多面的機能支払交付金活動組織数	24団体	H26年度末	26団体	H27年度末	30団体 (H29年度末)	農林水産課
主な 取組内容	事業名	H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要			
	農道整備事業	20,077	42,700	農業用道路を舗装することにより、農道の機能を保持し、交通の安全確保を図る。			
	農業用排水路整備事業	33,503	63,300	農業用排水を整備することで、排水路の機能回復と農村環境整備を図り湛水被害を防ぐ。			
	獣害防止事業	6,110	6,534	有害獣を適切な方法で駆除や管理を行い、農産物被害の軽減や防止を図る。			

イ 農業生産システムの確立	認定農業者数	128人	H26年度末	129人	H27年度末	136人 (H29年度末)	農林水産課
主な 取組内容	事業名	H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要			
	農業近代化資金等利子補給補助金	593	1,611	認定農業者等が経営規模拡大等のために借り入れる農業経営基盤強化資金の金利の一部を負担する。			
	経営所得安定対策推進事業	6,724	7,052	意欲ある農業者が需要のある作物を生産することに対し、交付金を支払うことにより農業経営の安定、農地の有効利用を図り、さらに食料自給率の向上、国際競争力の強化を図る。			
	遊休農地活用事業	750	750	地域の担い手が、遊休農地を営農可能な状態に回復するために必要な草刈りや耕起など、その復元に要する経費の支援を行う。			

ウ 担い手育成・生産の安定	青年就農給付金受給者数	9人	H26年度末	10人	H27年度末	14人 (H29年度末)	農林水産課
主な 取組内容	事業名	H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要			
	新規就農者総合支援事業	3,750	18,000	経営開始直後の新規就農者(原則45歳未満)に対し、最長5年間、前年の所得額に応じて1人あたり年間最大150万円(変動性)の給付金を給付する。			
	農産物ブランド化推進事業	-	3,000	市内産の農産物のブランド化を推進することにより、消費者に選ばれる農産物を提供し地域農業の振興や農業所得の向上を図る。			
	6次産業化推進事業	362	2,080	農産物のブランド化のひとつの手法である6次産業化を推進し、農業振興を図る。			

エ 水産業の振興	漁港の機能保全計画策定数	2計画	H26年度末	3計画	H27年度末	4計画 (H29年度末)	農林水産課
主な 取組内容	事業名	H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要			
	種苗放流事業補助金	924	3,795	水産資源保護の観点から漁協が実施する種苗放流に対し補助する。			
	水産振興事業	-	5,062	水産物の知名度の向上、消費拡大に向けて漁協が導入する水産物移動販売車の費用に補助する。			
	水産教室実施事業	81	200	漁業に対する興味を持ってもらうことを目的に市内小学生対象に水産教室を行う。			

今後の取組の方向性	<p>農業については、高齢化や担い手不足による問題があり、担い手の育成の事業推進が必要である。また、土地利用型農業が多いことから、農業生産基盤の保全を図り、担い手が効率的に農業を進めるための環境整備を行う。</p> <p>水産業においても担い手育成や水産資源の回復、水産基盤整備を計画的に行っていく。</p>
------------------	--

基本的方向	施策③ 就労支援及び就労環境の充実						
-------	-------------------	--	--	--	--	--	--

具体的施策	重要業績評価指標(KPI)		策定時		平成28年度進行管理時点		目標値	担当所属
			現状値	時点/実績年	現状値	時点/実績年		
ア 就労支援の推進	支援策を受けて就職した人数		269人 【68人】	H23～26年度 【年平均】	75人 【75人】	H27年度 【年平均】	312人 (H27～30年度)	商工労政課
主な 取組内容	事業名	H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要				
	若年求職者等支援事業	8,093	4,515	若年求職者・無業者に対する支援を行い、安定した就職の実現を目指す。				
	就労支援事業	54	3,552	女性や障がい者の雇用促進を図るためのセミナーの開催、若年者の資格取得補助等				

今後の取組の方向性	<p>少子高齢化が進む中、労働力人口の確保は社会的な課題となっており、若者、女性、障がい者の雇用・就労促進に向け、啓発事業や資格取得補助金の交付といった取組を進めるとともに、勤労者福祉に対する支援を引き続き行う。</p>
-----------	--

基本的方向	施策① 観光誘客の推進						
-------	--------------------	--	--	--	--	--	--

具体的施策	重要業績評価指標(KPI)		策定時		平成28年度進行管理時点		目標値	担当所属
			現状値	時点/実績年	現状値	時点/実績年		
			ア ターゲット別PRの推進	外国人神宮参拝者数	66,707人/年	H26年		
主な 取組内容	事業名	H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要				
	観光情報発信事業	122,183	111,275	観光客誘致のための情報発信・宣伝事業				
	外国人観光客誘致推進事業	8,993	30,288	外国人観光客誘致事業として、参加協議会と連携した誘客宣伝を行うとともに、伊勢市単体としての取組も行い、外国人観光客の誘致を図る。				
	スポーツ誘客推進事業	24,859	22,850	スポーツ施設等を活用し、大会・合宿、イベント等の開催を誘致するとともに、スポーツ観光を推進する。				

イ 受入基盤・環境の整備	車いす利用神宮参拝者数	23,334人/年	H26年	17,541人/年	H27年	32,000人/年 (H29年度)	観光振興課	
主な 取組内容	事業名	H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要				
	おもてなし推進事業	12,735	7,324	伊勢を訪れる観光客に対するおもてなし・歓迎事業。 御遷宮後の観光客確保のため、受入環境を整備する。				
	バリアフリー観光向上事業	2,309	3,373	観光地としての伊勢の魅力を高めるため、バリアフリー情報の発信とサービス体制の強化に取り組む。				
	外国人観光客受入強化事業	2,869	15,832	今後増加が予想される外国人観光客の受入対応力を向上させる。				

ウ 大規模集客イベントの誘致・開催	計画機関内におけるイベント等への来場者数	57万人	H26年	68万人	H27年	136万人 (H29年)	商工労政課	
主な 取組内容	事業名	H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要				
	全国菓子大博覧会・三重開催支援事業	15,000	34,092	第27回全国菓子大博覧会・三重実行委員会が行う各イベントの開催に係る事前準備(出展事業者の募集、PRイベントの開催、県・市町・関連団体との協議調整等)に対して支援を行う。				
	G8サミット関連事業	3,000	3,000	伊勢志摩サミット三重県民会議への負担金 ※平成28年度の事業名は「伊勢志摩サミット開催事業」				

今後の取組の方向性	<p>人口が減少の一途をたどり、国内の観光を取り巻く状況が年々厳しくなる中、伊勢市においては、伊勢志摩サミット開催や伊勢志摩国立公園が「ナショナルパーク」ブランド化のモデル事業に選定され、インバウンド推進への足がかりを得られた。今後においてもお伊勢さん菓子博や全国高校総体、東京オリンピック・パラリンピック、国民体育大会「三重とこわか国体」など伊勢市の観光に大きく影響を与える事項が多数続く。これらを積極的に活かし誘客や受入体制整備を行うことで、日本人観光客に対するさらなる取組強化及び国際観光都市としての地位を確立していく。</p>
-----------	---

基本的方向	施策② 移住の推進						
-------	-----------	--	--	--	--	--	--

具体的施策	重要業績評価指標(KPI)		策定時		平成28年度進行管理時点		目標値	担当所属
			現状値	時点/実績年	現状値	時点/実績年		
			ア シティプロモーションの推進	「地域ブランド調査」における「魅力度」順位		24位		
主な 取組内容	事業名	H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要				
	シティプロモーション推進事業	8,368	13,506	推進計画の策定、ロゴタイプの作成をはじめ、各種メディア(国際放送等)を通じた市内外への情報発信やワークショップの開催などを行う。				

イ 移住者への支援	移住者の空家改修助成制度活用件数	－	－	1件	H28年12月末	10件 (H31年12月末)	建築住宅課
主な 取組内容	事業名	H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要			
	空家等対策事業	2,000	4,000	県外からの移住者に対し、空家改修に係る経費の一部を助成する。			
	シティプロモーション推進事業(再掲)	－	216	移住希望者へ本市の生活情報等を発信するために、パンフレットの作成を行う。			

今後の取組の方向性	<p>移住者への情報発信を引き続き行うこととする。具体的には移住PRパンフレットの内容を充実させるとともに、市ホームページを活用し、本市の魅力や生活情報の更なる発信に取り組む。</p> <p>また、移住者の空家改修助成制度については、平成28年度に啓発用チラシを作成し、各種関係団体に送付したほか、県外の移住相談センターや移住相談会にて配布を行い、制度のさらなる周知に努めており、今後も継続して移住者への支援を行っていく。</p>
-----------	---

基本的方向	施策③ 高等教育機関との連携及び若者の定着促進
-------	--------------------------------

具体的施策	重要業績評価指標(KPI)	策定時				目標値	担当所属
		現状値		平成28年度進行管理時点			
		現状値	時点/実績年	現状値	時点/実績年		
ア 皇學館大学及び三重大学との連携強化	皇學館大学からの伊勢志摩圏域内の企業、自治体等への就職者数	60名/年	H26年度	77名/年	H27年度	80名/年 (H30年度)	企画調整課
主な 取組内容	事業名	H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要			
	皇學館大学地域拠点連携整備事業	-	1,770	商店街の空き店舗を活用した産学官連携による人材育成、地域活性化の取組			
	地(知)の拠点整備事業の協力支援	-	-	文部科学省の採択を受けて皇學館大学が実施する「地(知)の拠点整備事業」に係る伊勢志摩定住自立圏構成市町と同大学との官学連携による教育プログラムの開発及び運営支援			

今後の取組の方向性	包括連携協定に基づき三重大学が備える医療、工業、農水産業等の専門分野での連携を促進し、産業振興等を図るとともに、皇學館大学の教育プログラムの連携深化を図り、地域資源の磨き上げ及びまちの活性化を促進し、地域に有為な人材の育成に寄与する。また、両大学の学生のインターンシップを積極的に受け入れ、定住促進につなげる。
-----------	---

基本的方向	施策① 結婚・妊娠・出産・子育てに対する切れ目のない支援
-------	-------------------------------------

具体的施策	重要業績評価指標(KPI)	策定時				目標値	担当所属
		現状値		平成28年度進行管理時点			
		現状値	時点/実績年	現状値	時点/実績年		
ア 出会い・結婚への支援	来所又は電話等によるセンター利用件数	-	-	2,758件/年	H27年10月～ H28年9月	3,000件/年 (H30年10月～ H31年9月)	市民交流課
主な 取組内容	事業名	H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要			
	出会い・結婚支援事業	10,044	12,117	出会い・結婚に係る情報発信を行う「いせ出会い支援センター」を運営するとともに、各種イベントを実施する。			

イ 親と子の健康支援	妊婦健康診査受診率	95.1%	H25年度	98.8%	H26年度	100% (H30年度)	健康課
主な 取組内容	事業名	H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要			
	妊婦・乳児健康診査事業	109,080	113,251	妊婦健康診査を14回、乳児健康診査を2回実施し、疾病や異常の早期発見、早期対応により、各期に応じた母子の健康づくりを支援する。			
	妊娠出産包括支援事業	11,644	23,166	安心して子育てができるよう、妊娠から出産、子育て期にわたる切れ目のない支援を行うための事業を実施し、妊産婦等を支える体制を整備する。			
	不妊不育治療費助成事業	13,303	14,004	不妊不育治療を行っている夫婦に対して、治療にかかる費用(医療費)の一部を助成をすることにより、経済的な負担の軽減を図る。			

ウ 保育体制の整備	11時間を超える延長保育、休日保育、一時保育を実施する保育所及び認定こども園の割合	34.4%	H27年度	34.4%	H28年度	43.3% (H31年度)	こども課
主な 取組内容	事業名	H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要			
	病児・病後児保育事業	16,440	14,274	児童が病気あるいは病気回復期にあるため集団保育が困難である間、専用スペースで保育することにより保護者の子育てと就労の両立を支援する。			
	放課後児童対策事業	193,105	275,780	昼間、保護者のいない家庭の児童を対象に、放課後の健全指導を行い、遊びを通して活動の自主性、創造性を助長するなど健全育成を図る。			
	子育て環境整備事業	5,045	-	妊婦や乳幼児を持つ家庭における災害に対する必要な備えをとりまとめたパンフレットを作成するとともに、保育所、幼稚園、放課後児童クラブにおいて防災備品の備蓄を行う。			

今後の取組の方向性	<p>平成27年度に開設した「いせ出会い支援センター」を活用し、出会い・結婚に関する情報発信、相談受付等を継続して行う。また、本市のみならず伊勢志摩定住自立圏の構成市町と連携しながら、取組の強化を図る。</p> <p>平成27年度に策定した「第2期健康づくり指針」に基づき、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を強化していくとともに、多様な保育サービスの提供体制を確立するとともに、児童相談、女性相談、発達支援相談体制を強化する。</p> <p>また、子育て支援センターやファミリー・サポート・センター事業の充実により、子育てを支える機運を醸成していく。</p>
------------------	---

基本的方向	施策② 教育の充実
-------	------------------

具体的施策	重要業績評価指標(KPI)	策定時		平成28年度進行管理時点		目標値	担当所属
		現状値	時点/実績年	現状値	時点/実績年		
		ア 確かな学力の育成	小学校・中学校における授業内容がわかると思う子どもたちの割合	小学校91.4% 中学校90.7%	H26年度		
主な 取組内容	事業名	H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要			
	学びのグレードアップ総合推進事業	9,322	9,181	目標基準準拠検査を行い学習の実態把握を行うとともに、授業改善の研究を行う。			
	学校図書館充実経費	18,214	18,501	新刊図書や推薦図書などを購入し、図書の充実を図り、子どもの読書への関心を高める。			
	要保護及び準要保護児童生徒援助事業	75,305	75,090	経済的理由によって就学困難な児童生徒について、学用品費等を給与するなど必要な援助を行う。			

イ 豊かな心・健やかな体の育成	人の役に立つ人間になりたいと思う子どもたちの割合	小学校92.8% 中学校94.0%	H26年度	小学校93.6% 中学校93.9%	H28年度	小学校95% 中学校98% (H31年度)	学校教育課
主な 取組内容	事業名	H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要			
	非核・平和運営事業	1,047	1,288	広島平和記念式典に中学生の代表を派遣し、平和について学ぶ機会を設け、報告会等を通じて広く市民に平和の尊さを発信する。			
	子どもたちとつくる「やさしいまち伊勢市」支援事業	2,302	2,917	発見大賞の募集・体験活動等を支援する事業推進・子ども未来会議の開催・赤ちゃんとのふれあい体験等を通していのちの学習の実施			
	人権教育子ども輝きプラン総合推進事業	1,649	1,628	市内小中学校における人権教育の総合的・系統的な充実を図る。			

ウ 学習環境の整備・充実	教育用コンピュータの整備率	4.5人/台	H26年度末	5.0人/台	H28年度末	4.1人/台 (H31年12月末)	教育研究所
主な 取組内容	事業名	H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要			
	学校教育支援事業	112,007	120,839	学習支援員・教育支援ボランティア・学校安全ボランティアの派遣			
	空調設備整備事業	418,792	0	教育環境の向上のため、市立小中学校に空調設備を整備する。			
	教育用コンピュータ管理経費	80,576	124,484	教育用コンピュータの整備を進めることで、次世代型学習環境を構築する。			

今後の取組の方向性	「心豊かでたくましい子ども」という伊勢市の目指す子ども像を実現するために、地域・家庭・学校が連携し、知・徳・体をバランスよく育成していく。そのための手段として、ICT環境を整えたり、子どもたちの本を読む環境を整えたり、子どもたちの学力の実態把握を行い、それをもとに授業改善の取組を研究したり、子どもたちが自分の考えを発信する機会を提供したりしていく。また適正な規模・配置をめざし、社会情勢に対応し、地域の声に耳を傾けながら学校統合に取り組む。
------------------	---

基本的方向	施策③ ワーク・ライフ・バランスの実現
-------	----------------------------

具体的施策	重要業績評価指標(KPI)	策定時		平成28年度進行管理時点		目標値	担当所属
		現状値	時点/実績年	現状値	時点/実績年		
		ア 男女共同参画意識の普及	日常生活での乳児・幼児の世話の分担で夫婦同じ程度と回答した割合	40.4%	H27年度		
主な 取組内容	事業名	H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要			
	男女共同参画推進都市事業	1,351	3,220	市民の意識啓発のためのイベント等の開催、広報いせ紙面による啓発など			

イ 企業などにおける男女共同参画の取組の支援	男女がいきいきと働いている企業認証制度の市内認証企業数	30社	H27年度	31社	H28年度	35社 (H31年度)	市民交流課
主な 取組内容	事業名	H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要			
	男女共同参画推進都市事業(再掲)	39	420	人材育成講座の開催、伊勢市男女共同参画推進事業者等の表彰、企業訪問による啓発など			

今後の取組の方向性	結婚や子育ての希望をかなえるために、男女共同参画意識の向上やワーク・ライフ・バランスへの取り組みは不可欠であることから、引き続き意識啓発のためのイベントやセミナー、企業訪問等を実施していく。男女共同参画意識の普及については、特に男性の子育てへの参加促進について継続して啓発を行う。また、企業に向けた啓発を強化し、ワーク・ライフ・バランスへの取組を推進する。
-----------	--

基本的方向	施策① コンパクトなまちづくり						
-------	-----------------	--	--	--	--	--	--

具体的施策	重要業績評価指標(KPI)		策定時		平成28年度進行管理時点		目標値	担当所属
			現状値	時点/実績年	現状値	時点/実績年		
			ア 中心市街地の活性化	①中心市街地の歩行者数 (商店街5箇所合計)		2,957人/日		
②中心市街地商店街の空き店舗率		33.9%		H26年度	35.0%	H27年度	26.9% (H31年度)	商工労政課
主な 取組内容	事業名		H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要			
	中心市街地再生事業(交付金)		54,337	167,000	市民団体等を対象に市民主体のまちづくり活動及び民間事業者が実施する市街地再開発事業等に対する補助金等による支援			
	商店街等振興対策事業		7,124	11,800	商店街等の活性化を図るために、関係団体と連携し、商店街等の空店舗対策や活性化対策を実施			
	商業活性化推進事業		3,550	7,900	商業団体が自主性をもって創出し、継続して行う事業に対して補助金を交付			

イ 交通ネットワークの形成	コミュニティバスの利用者数	77,632人/年	H26年度	79,883人/年	H27年度	85,400人/年 (H30年度)	交通政策課
主な 取組内容	事業名		H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要		
	コミュニティバス運行事業		67,443	89,938	交通弱者(高齢者等)に対するの移動手段を確保するため、コミュニティバスを運行する。		
	路線バス運行維持事業		5,911	6,210	路線廃止により交通不便地域とならないように地域住民の交通手段を確保するため路線の維持を行う。		
	自主運行バス運行事業		10,299	11,699	地域住民の主体的な取組により沼木地区における交通弱者の移動手段の確保を行う。		

ウ 公共施設マネジメントの推進	公共施設等総合管理計画の策定	—	—	H27年度に 策定完了	H27年度	平成27年度に策定 完了	情報調査室
主な 取組内容	事業名		H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要		
	公共施設マネジメント事業		203	2,555	公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行う。		

今後の取組の方向性	<p>伊勢市中心市街地活性化基本計画に位置付けた、中心市街地の活性化に資する事業の進捗管理と新たな事業の取り纏め等を実施するとともに、伊勢市駅前地区市街地再開発事業等に対し補助金による支援を行い、事業の促進を図る。</p> <p>交通ネットワークの形成については、公共交通不便地域における交通弱者(高齢者等)に病院や商業施設等への日常的な移動手段を提供するとともに、観光都市でもある本市の地域特性を踏まえ、鉄道や路線バス等との連携を図り、観光における公共交通の利用促進を推進する。</p> <p>また、公共施設等総合管理計画に基づき、集会施設や学校などの公共施設及び道路や橋などのインフラ資産における各施設の今後の管理方針を定め取組を進めていく。</p>
-----------	---

基本的方向	施策② 居住環境の向上						
-------	-------------	--	--	--	--	--	--

具体的施策	重要業績評価指標(KPI)		策定時		平成28年度進行管理時点		目標値	担当所属
			現状値	時点/実績年	現状値	時点/実績年		
			ア 空家等対策の推進	空家等対策計画の策定		—		
主な 取組内容	事業名		H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要			
	空家等対策事業(再掲)		16,740	11,852	空家等対策計画の策定や移住促進対策空家改修支援事業等を実施する。			

今後の取組の方向性	<p>空家については、「空家等対策の推進に関する特別措置法」や平成27年度に実施した空家等実態調査に基づき、「伊勢市空家等対策計画」を策定中であり、本計画に基づき適正な管理が行われるよう多角的な取組を進める。また、倒壊等の恐れのある危険な空家については、所有者に対し撤去等の措置を講じるように促すなど、緊急的な対応を行う。</p>
-----------	---

基本的方向	施策③ 地域内コミュニティの活動促進
--------------	---------------------------

具体的施策	重要業績評価指標(KPI)		策定時		平成28年度進行管理時点		目標値	担当所属
			現状値	時点/実績年	現状値	時点/実績年		
			ア ふるさと未来づくりの推進	まちづくり協議会が実施する事業数		105事業/年		
主な 取組内容	事業名	H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要				
	地域自治推進事業	150,814	184,803	まちづくり協議会に対する資金の交付、講演会の開催等				

イ 自治会活動の促進	自治会加入率	81.8%	H27年度初	79.8%	H28年度初	86% (H31年度初)	市民交流課
主な 取組内容	事業名	H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要			
	自治会コミュニティ放送整備補助事業	112,135	16,774	地域内の情報伝達手段として放送設備を整備する自治会へ補助 平成27年度 37自治会			
	自治会集会所建設事業補助金	30,070	11,400	自治会集会所の建設等に要する費用の一部を補助 平成27年度交付 10自治会			
	コミュニティ助成事業補助金	22,200	30,000	集会施設の建設や活動備品の整備等に補助金を交付 平成27年度交付 5団体			

ウ 地域支え合い体制の促進	活動支援団体数	4団体	H26年度末	5団体	H28年12月末	12団体 (H31年12月末)	地域包括ケア 推進課
主な 取組内容	事業名	H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要			
	介護予防・日常生活支援モデル事業	-	4,034	要支援高齢者に対して、住民主体による軽易な生活支援、及び集いの場等への通所により行われる社会的参加の促進を目的とした運動等の事業を実施する団体等に補助を行う。			
	介護予防・日常生活支援総合事業	-	-	平成29年4月から、従来介護予防給付で行われていた訪問介護・通所介護について、多様な主体により多様な方法で実施されるよう、虚弱高齢者に日常生活上の援助を行う事業を実施する団体等へ補助			

今後の取組の方向性	<p>新たな地域自治の仕組み「ふるさと未来づくり」の取組に対する地域住民の理解促進と気運の醸成を図り、まちづくり協議会と自治会が互いに補完し合うことで、一層の地域自治の推進を図られるよう継続して支援を行う。現状においては市からの財政支援のあり方等が課題となっていることから、引き続き地域住民との協議を行いながら、まちづくり協議会の進展に合った制度構築を進める。</p> <p>自治会加入率については目標達成が難しい状況にあるが、地域課題の解決において地域内の支えあいが重要であることについて引き続き啓発等に取り組む。</p> <p>また、少子・高齢化が進む現状を踏まえ、地域住民組織等へ介護保険制度の説明を行い、新たな補助制度の活用による地域支え合い体制の構築を促す。</p>
------------------	--

基本的方向	施策④ 健康づくり・介護予防の促進						
-------	-------------------	--	--	--	--	--	--

具体的施策	重要業績評価指標(KPI)	策定時				目標値	担当所属
		策定時		平成28年度進行管理時点			
		現状値	時点/実績年	現状値	時点/実績年		
ア 健康づくり・介護予防の推進	ポイント事業の参加者	—	—	1,000人	H28年	3,000人 (H31年12月末)	地域包括ケア 推進課
主な 取組内容	事業名	H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要			
	健幸ポイント事業	—	35,664	超高齢化社会、人口減少社会に対応できるよう、インセンティブ付与により多数の市民の健康寿命の延伸を図る。			

今後の取組の方向性	<p>健康づくりに対する無関心層の参加を促すために、参加者の追加募集を引き続き行うとともに、参加者のモチベーション向上を図るため、ポイント付与に係るルールを新たに設定し、ポイント獲得の機会を増やすなどの取組を進める。また、獲得したポイントを団体等に寄附できる仕組みの構築についても検討する。</p> <p>参加者の利便性を向上させるため、歩数・体組成データのICTシステムへの取込方法を簡略化するなど、現在の運用方法を継続的に検証する。</p>
-----------	--

基本的方向	施策⑤ 広域連携の推進						
-------	-------------	--	--	--	--	--	--

具体的施策	重要業績評価指標(KPI)						担当所属	
	策定時		平成28年度進行管理時点		目標値			
	現状値	時点/実績年	現状値	時点/実績年				
ア 定住自立圏構想の推進	取組事項の数		26取組	H26年度末	27取組	H27年度末	40取組 (H30年度末)	企画調整課
主な 取組内容	事業名		H27決算額(千円)	H28予算額(千円)	事業概要			
	定住自立圏構想推進事業		114	659	伊勢志摩定住自立圏の中心市として共生ビジョン懇談会の開催等を行う			

今後の取組の方向性	引き続き、伊勢志摩定住自立圏の連携市町との調整及び住民からの意見聴取等を通じて、圏域の課題の把握に努め、広域連携のメリットがある取組について連携を進めていく。
-----------	---